

このまま使える!

ワークシートブック
「学ぼう産経新聞
福島復興特別編」



正しい知識を学び福島県の復興を前に進めよう

このワークシートブック「学ぼう産経新聞 福島復興特別編」は、東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故からの福島県の復興を目的に、復興庁の「令和5年度効果的な風評払拭に向けた情報発信等事業」の一環として制作しました。

産経新聞では、教育現場において新聞を教材として活用する「NIE（ニュースペーパー・イン・エデュケーション）」の推進を目的に、政治、経済からスポーツ、文化まで、国内外のニュースを、イラストを使ってわかりやすく解説する「週刊 学ぼう産経新聞」を毎月第1～第4日曜日に掲載しています。今回、2023年9月から2024年3月に掲載された福島県の復興に関する紙面4回分をワークシートブックにまとめました。

東日本大震災と原発事故から13年目を迎えましたが、いまだに根拠に乏しい思い込みや偏見による風評はなくなっておりません。2023年8月には東京電力福島第1原発にたまり続けている「ALPS処理水」の海洋放出が始まり、新たな風評も懸念されています。風評を払拭し福島県の復興を進めるには、科学的根拠や事実に基づいて行動することがとても重要です。

このワークシートブックを活用し、NIEを通じて、子供たちに放射線や放射性物質、ALPS処理水などについての正しい知識を学んでもらうことが、福島県の復興を前に進めることにつながると考えています。

ワークシートブック「学ぼう産経新聞 福島復興特別編」の利用方法

そのまま授業で

受験勉強の参考として

家庭学習の課題として

親子の会話のきっかけに

A3判またはB4判に拡大して配布すると便利です。先生の授業案に合わせてお使いください。下部の「読めばわかる」「考えてみよう」「調べてみよう・聞いてみよう」に記入させれば子供だけで学習が進められます。

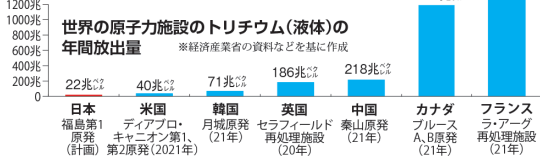
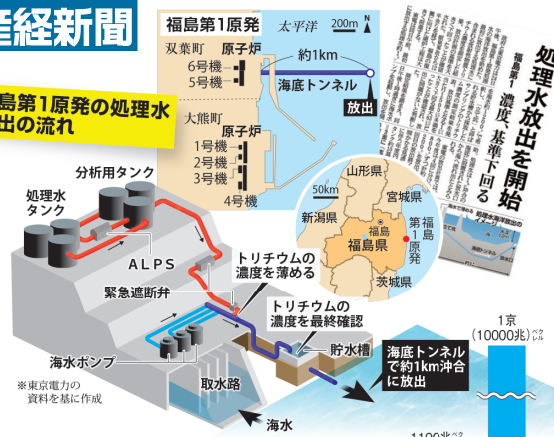
学 ぼう
産経新聞

特別復興編

今週のテーマ

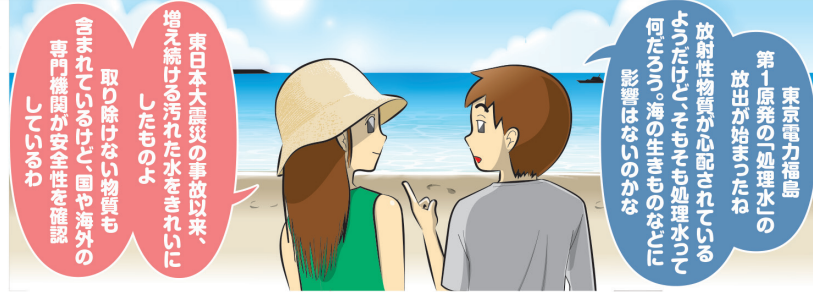
原発処理水放出、安全性は

福島第1原発の処理水放出の流れ



福島第1原発の廃炉に向けた工程表

令和5年	2号機から溶けた核燃料(デブリ)の取り出しを開始
6~8年度	2号機のプールから使用済み核燃料の取り出しを開始
9~10年度	1号機のプールから使用済み核燃料の取り出しを開始
15年末	1~6号機すべてのプールから使用済み核燃料取り出し
23~33年	廃炉の完了



東京電力福島第1原発の「処理水」の放出が始まったね
放射性物質が心配されているよ。ただ、そもそも処理水って何だろう。海の生きものなどに影響はないのかな

取り除けない物質も含まれてるけど、国や海外の専門機関が安全性を確認してるよ

東日本大震災の事故以来、増え続ける汚れた水をきれいにしたのよ

タンクは満杯に
事故で溶けた核燃料を冷やしたり、地下や雨水が入り込んだりして、建屋などに放射性物質が混じった水がたまっていくんだって。敷地内のタンクも来年2月から5月ごろには満杯になるそうだよ

なぜ放出?
タンクの水は「ALPS (アルプス)」という設備を使ってほとんどの放射性物質が除去されているのよ。タンクはこれ以上増やせないし、廃炉作業の足かせにもなっているわ

ALPS (多核種除去設備) 活性炭などの吸着材で、放射性物質をこし取る装置。福島第1原発事故から2年後の平成25年に稼働した。「前処理設備」吸着塔の順に汚染水を通し、63種類の放射性物質のうち、トリチウムを除く62種類を除去できる。

自然界にも広く存在
トリチウムは水道水や雨水など、自然界にも広く存在する物質で、放射線は微弱よ。国内外の他の原発からも放出されているけど、人や環境への影響が確認された例はないの。

「トリチウム」の影響は
でも「トリチウム」という物質は、残ったままなんだよね。中国などでは「汚染水」と呼ばれているとも聞くよ。計画では、国の排水基準の40分の1未満まで海水で薄めるそうだけど...

基準以下に薄める
トリチウム 多くは酸素と結びつき「水」の形で存在する放射性物質。今回の放出計画での濃度は、国の排水基準(1日当たり6万Bq)の40分の1未満、世界保健機関(WHO)の飲料水基準の7分の1未満にとどまる。

10秒以内に停止
地震や津波などの異常発生時に放水を止める緊急遮断弁があり、10秒以内に放水をストップできるのよ。ほかにも人の作業ミスなどへの対策が幾重にも講じられているわ

二重三重の対策
なるほど。国際原子力機関(IAEA)も、影響は「無視できるほどごくわずか」と評価していたよね。原発事故のときのように、想定を上回る自然災害で、トラブルがあっても大丈夫かな

非常時でも大丈夫?

令和5年9月3日朝刊

デザイン: 森口友也、菊田知比呂

読 めばわかる

処理水を海に放出する理由は

考 えてみよう

放出を懸念する人に安全性を説明してみよう

調 べてみよう

聞いてみよう



ワークシートブック 「学ぼう産経新聞 福島復興特別編」



令和6年3月 初版発行

産経新聞東京本社メディア営業局
〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL:03-3275-8666 FAX:03-3275-8932 mailto:ml.sankei-ad-contact@sankei.co.jp
<https://sankei.com/>
